



平成 27 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 東洋製罐グループホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 中井 隆夫
(コード番号 5901 東証第一部)
問合せ先 総務部長 小笠原 宏喜
(TEL 03-4514-2001)

**営業外収益（為替差益）の計上、特別損失の計上、業績予想の修正
および個別業績予想と前期実績との差異に関するお知らせ**

当社は、平成 27 年 3 月期第 3 四半期において営業外収益（為替差益）を計上するほか、平成 27 年 3 月期第 4 四半期において特別損失の計上を見込むとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 10 月 14 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、個別業績予想について、前期実績と差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上について

昨今の為替相場の変動により、平成 27 年 3 月期第 3 四半期において、海外連結子会社への外貨建て貸付金等にかかる為替差益（連結で約 75 億円、個別で約 54 億円）を営業外収益に計上いたします。

なお、上記金額は平成 27 年 3 月期第 3 四半期末時点での為替相場による為替差益であり、今後の為替相場の状況により、この額は変動いたします。

2. 特別損失の計上について

当社が、平成 26 年 12 月 19 日付で公表した「子会社の解散に関するお知らせ」に関しまして、当社の連結子会社である東罐（広州）高科技容器有限公司の解散決議にともない関係会社整理損失引当金繰入額として約 38 億円を、平成 27 年 3 月期第 4 四半期の連結決算において特別損失に計上する予定であります。

3. 業績予想値の修正等

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 780,000	百万円 20,000	百万円 21,000	百万円 12,000	円 銭 59.15
今回修正予想（B）	785,000	14,000	23,500	10,000	49.29
増減額（B－A）	5,000	△6,000	2,500	△2,000	
増減率（%）	0.6	△30.0	11.9	△16.7	
（ご参考）前期実績 （平成26年3月期）	785,245	27,858	29,605	13,800	68.03

平成27年3月期通期個別業績予想と前期実績との差異（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A）	百万円 14,262	百万円 3,096	百万円 8,146	百万円 6,185	円 銭 30.49
当期予想（B）	16,000	4,500	13,500	12,500	61.62
増減額（B－A）	1,737	1,403	5,353	6,314	
増減率（%）	12.2	45.3	65.7	102.1	

4. 業績予想値の修正等の理由

【連結】

売上高は、当社の連結子会社であるStolle Machinery Company, LLCなどの販売が当初予定より増加する見通しであることに加え円安が寄与し、前回予想を上回る見込みです。営業利益は、円安による原材料・エネルギー価格の上昇のほかコスト上昇分の販売価格への転嫁が遅れていることから、前回予想を下回る見込みです。経常利益は、営業利益の減少はありますが、上記1. のとおり営業外収益を計上することにより前回予想を上回る見込みです。当期純利益は、上記2. のとおり特別損失を計上することにより前回予想を下回る見込みです。

【個別】

売上高は、子会社からの受取配当金の増加にともない前期実績を上回る見込みです。営業利益は、売上高の増加にともない前期実績を上回る見込みです。経常利益は、上記1. のとおり営業外収益を計上することにより前期実績を上回る見込みです。当期純利益は、経常利益の増加に加え前期において計上していた特別損失が当期は発生しないことから、前期実績を上回る見込みです。

なお、平成27年3月期の期末配当金につきましては当初予定と変更ございません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上